

お得意様各位

平成25年2月1日

株式会社 タテムラ
システムサービス課
福生市牛浜104

System-V/LX 確定申告書・贈与税申告書・電子申告プログラムの送付について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお取引を賜り誠にありがとうございます。

所得税確定申告書システム、贈与税申告書及び電子申告プログラムが完成しましたのでお届け致します。

つきましては同封の資料を参照に更新作業を行って頂きますようお願い申し上げます。

また、電子申告をご利用の場合は1月4日にe-Taxソフトの更新がありましたので、まだ更新していない場合はe-Taxソフトを起動して更新作業を行って下さい。(e-Taxを最新にしていない場合、エラーが出て電子申告データ変換ができません。)

今年も保守会員様限定・確定申告特別電話サポートを行います。

特別電話サポート日：3月9日(土) AM9:00~PM5:00

電話サポート回線：保守会員様専用フリーダイヤル

(一般回線は弊社カレンダー通りお休みになります)

※確定申告時期のサポート体制のため、確定申告以外の障害等対応は月曜日以降となります。

あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

尚、官製用紙印刷一部未対応として1月8日付けで発送しました新個人決算書につきましては、本年の官製用紙に全て対応しておりましたので、1月8日発送分を正式版としてご使用下さい。

今後とも倍旧のお引き立ての程、宜しくようお願い申し上げます。

敬具

送付資料目次

※改正保守のご加入(未納含む)およびご注文にもとづき、以下の内容を同封しております。

送付プログラム

- ・System-V/LX用 平成24年確定申告書・贈与税申告書・電子申告プログラム更新 CD-R 1枚
※サーバーが複数台ある場合でも共通で使用できます。

取扱説明書

CD-R内にPDFファイルとして入っています。

※ご注文いただいたお客様(有料) 所得税確定申告書 I・II、贈与税申告書 各1冊※

案内資料

- ・ 同封物の解説及びバージョンNO. 一覧 1
- ・ [1000]プログラムの更新作業 2~3
- ・ 電子申告 環境設定インストール方法 4~6
- ・ 取扱説明書の呼び出し方-PDFの開き方 7
- ・ 所得税確定申告書システム 変更内容追記 8~9
- ・ 電子申告システム 変更内容 10~12

送付内容のお問い合わせ先

送付内容に関するお問い合わせにつきましては、サービス課までご連絡下さいますようお願いいたします。尚、保守にご加入のお客様はフリーダイヤルをご利用下さい。

TEL 042-553-5311 (AM10:00~12:00 PM1:00~3:30)

FAX 042-553-9901

以上

保守契約又はご注文に合わせて、以下のCD-Rを同封しております。



今回送付した更新版CD-Rには

- ・各プログラム
- ・電子申告環境設定
- ・PDFファイルの取扱説明書

を1枚に入れて送付しています。

No	ラベル名	枚数	備考
1	System-V/ LX 平成24年 確定申告書・贈与税申告書・確定電子申告更新 電子申告環境設定	1	プログラムインストールCD-Rです。契約プログラムのみインストールします。お客様が起動できるプログラムの内容とCD-Rのラベルは一致しません。(保守契約書又は同封の伝票をご確認下さい。)

●バージョンNo.一覧

下記のプログラムは[F 9] (申告・個人・分析) の1頁目から2頁目、[F 10] (データ変換) の1頁目に表示します。

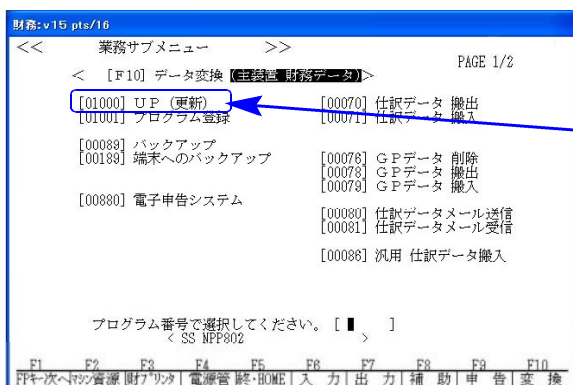
PG番号	プログラム名	HD-VER	備考
97	GP年度更新	V-1.24	平成24年確定申告の内容に対応致しました。
330	所得税確定申告書システム	V-1.40	平成24年の確定申告に対応致しました。
520	贈与税申告書	V-2.00	平成24年の贈与申告に対応致しました。
880	電子申告	V-1.22	平成24年の確定申告に対応、及び法人税変換での機能改善を致しました

※ 今回の確定申告書等の更新に関係のないサーバーおよび単体マシンをお持ちの場合、その機械にも本転送を行って下さい。お手数をお掛けしますがよろしくお願い致します。

平成25年1月8日発送の新個人決算書プログラムの更新がかかっていないお客様は必ず更新をかけてから本更新作業を行って下さい。

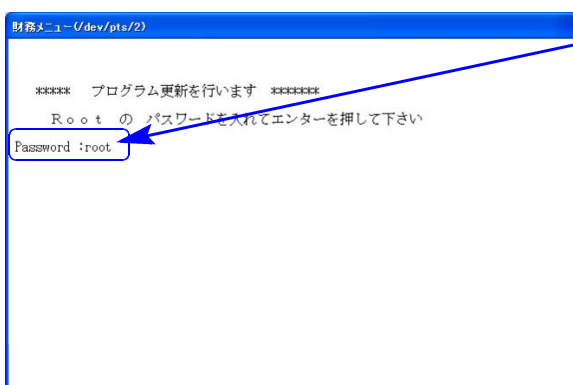
● 操作方法

- ① 「平成24年 確定申告書・贈与税申告書・確定電子申告更新 2013.02」と書かれているCD-Rを用意します。
- ② F10 データ変換のメニューを呼び出します。



初期メニューより F10 データ変換を選択します。[1000] UP (更新)を呼び出します。

1000 Enter を押します。



Enter を押します。
(rootは入力しません)

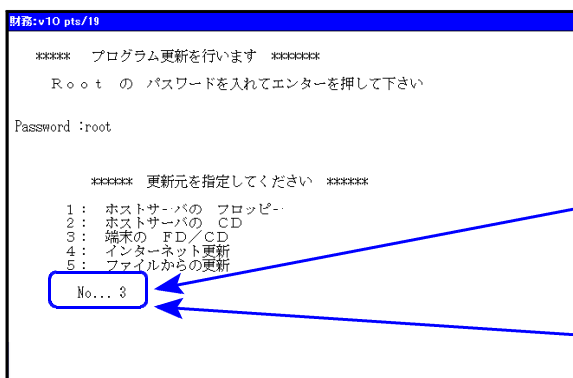
r o o t は消さないように注意して下さい。

※パスワードを消した場合エラーを表示します。



※ LX:2005年7月以前納品の機械(LX-TURB010)は、2:ホストサーバのCDで作業して下さい。

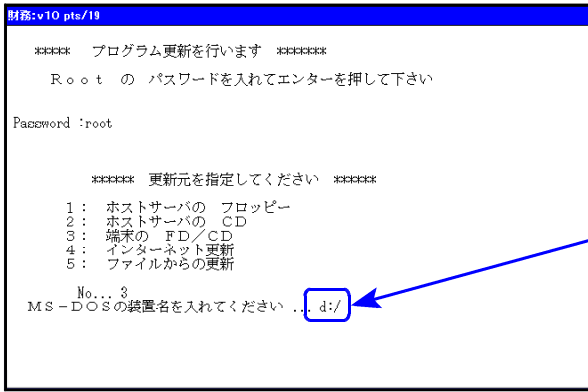
- ③ 下図の画面を表示します。



「平成24年 確定申告書・贈与税申告書・確定電子申告更新 2012.02」と書いてあるCD-Rをセットして、『3』端末のFD/CDを選択します。

3 Enter と押します。

※ 親機にCD-Rをセットした場合は
2 Enter を押します。
→ ⑤へ移動



- ④ 『3』 端末のFD/CDを選択すると『MS-DOSの装置名を入れて下さい..d:¥』等、前回指定したドライブ名を表示しますのでCD-ROMのドライブ名を確認します。

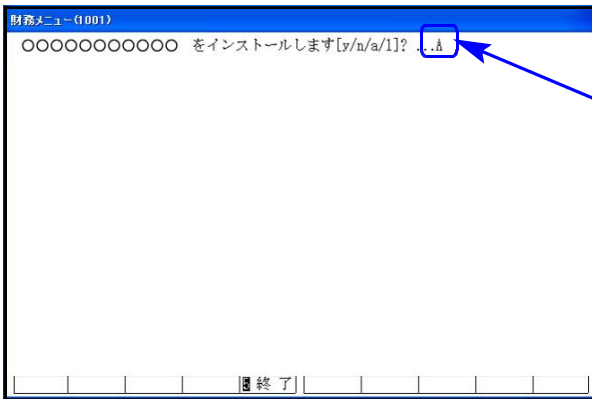
表示したドライブ名が違う場合は、入力後 **Enter** を押します

※お客様の機械によってドライブ名は異なります。下記の方法で確認して下さい。

CD-ROMのドライブ名の確認方法

マイコンピュータを開きます。
CD-ROMのドライブを確認して下さい。

左図の場合はCD-ROMドライブは『D』です。



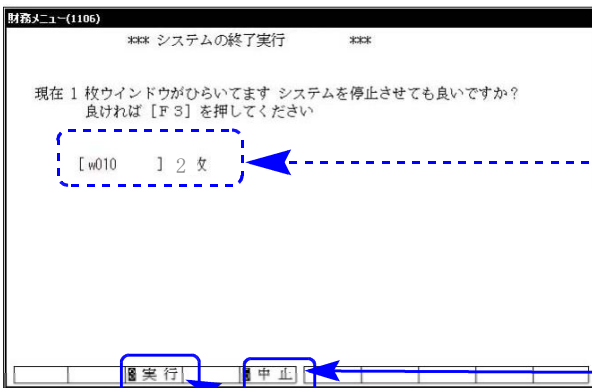
- ⑤ インストールを実行します。
左図の1行目の画面を表示します。
『OOOをインストールします[y/n/a/1?...]』
a 又は **1** を選択します。

※誤って、**y** を選択した場合は2行目以降で **a** 又は **1** を選択して下さい。

- ⑥ 2行目以降を表示します。
終了が出た後しばらくお待ち下さい。

- ⑦ インストールが終了すると左図の画面を表示します。
CD-Rを本体から取り出して下さい。
他の端末が起動していないことを確認します。

※ここに転送作業中の端末名のみ表示していることを確認します。他の端末名を表示している場合はその端末を終了して下さい。



単体の場合

終了(F5)を何回か押してシステムを終了しWindows画面、もしくはポータル画面まで戻ります。戻った後、3分ほど待ち、再度システムを起動して下さい。

ネットワークの場合

実行(F3)を押し、しばらくお待ち下さい。左図の画面を表示した後、しばらくすると自動的に**マルチウィンドウ端末が終了**、その後親機の電源も自動的に切れて再起動します。(※親機の電源が切れたあと5分ほど待っても再起動しない場合は、電源ボタンを押して起動して下さい。)

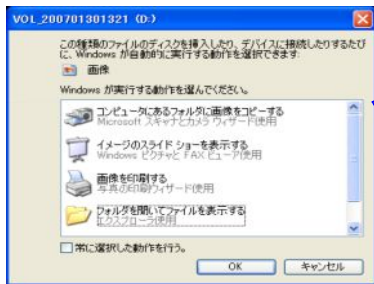
※親機を複数台持っている場合は、本CD-Rにて更新作業を同様に行ってください。

転送前の確認事項

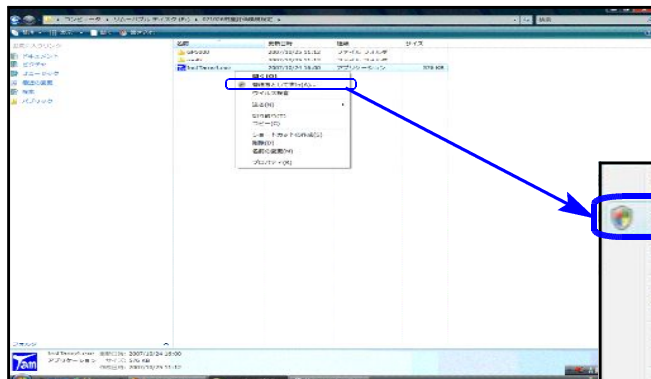
- インストールを行う際は、全てのプログラムを終了して下さい。（マルチウィンドウ端末も閉じて下さい。）※電子申告システムをご利用になっていないコンピュータでは作業不要です。

インストールは下記に沿って各端末機で行って下さい。

1. 今回送付した「平成24年確定申告書～ 2013.02」と書いてあるCD-Rを用意して、端末機にセットします。
2. コンピュータ(XPはマイコンピユタ)をダブルクリック→CD-ROMドライブをダブルクリックします。CD-Rの内容を表示しますので、『InstIams4.exe』を右クリックし、手順3へ。(XPの場合は、『InstIams4.exe』をダブルクリックして手順5へ)



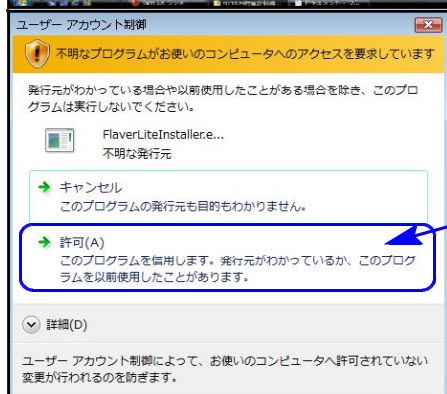
※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダを開いてファイルを表示する』を選択します。OKにマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押すと右上の画面を表示します。



3. 左図の画面より『管理者として実行』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)



4. Vistaは左図の画面を表示しますので、「許可」マウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)

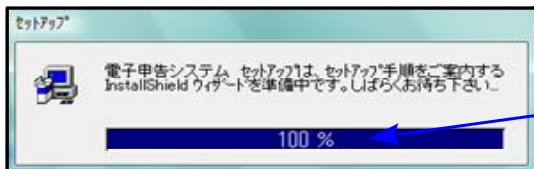


7は「許可しますか?」と表示しますので「はい(Y)」にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)

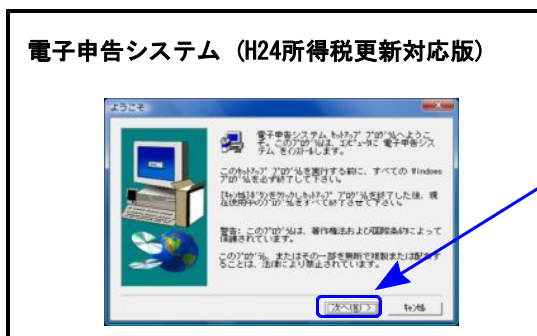


5. 左図の画面を表示します。
電子申告システムの『新規』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。

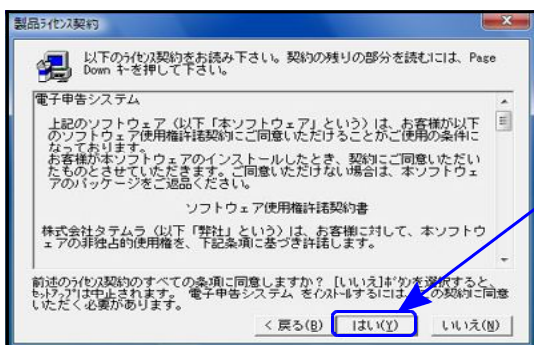
次の画面が出るまでしばらくお待ち下さい。



6. 左図の画面を表示します。
「100%」になるまでお待ち下さい。



7. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)

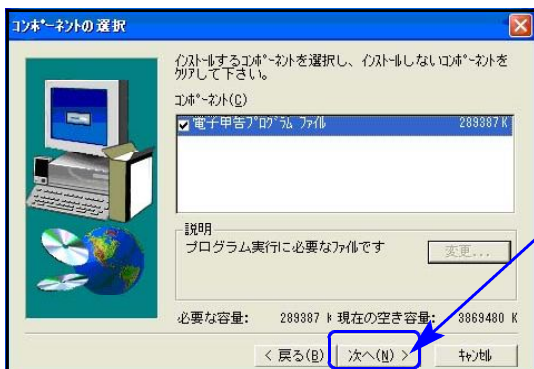


8. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「はい」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)



9. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)

しばらくお待ち下さい。



10. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)

しばらくお待ち下さい。



11. 「セットアップ完了」と表示したらマウスの矢印を「完了」に合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)

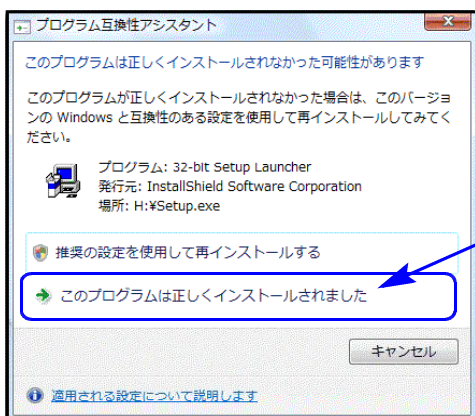


12. 左図の画面に戻ります。

マウスの矢印を「閉じる」に合わせて左ボタンを1回押します。

13. CD-Rを取り出し、Windowsを再起動して下さい。

以上でインストール作業は終了です。



※7/Vistaの場合で、インストール終了後に左図の画面を表示した場合は

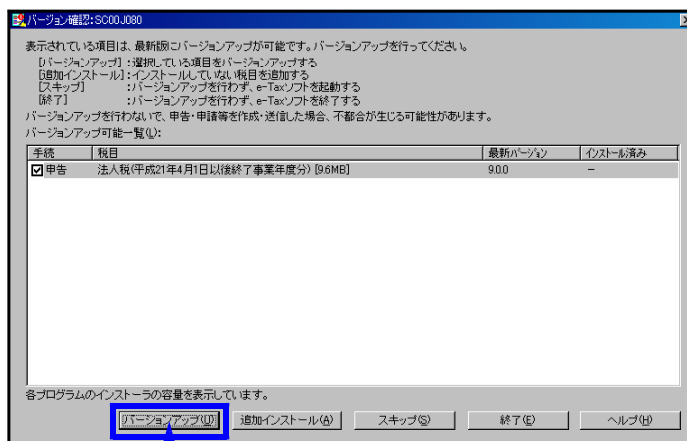
「このプログラムは正しくインストールされました」にマウスの矢印を合わせ、左ボタンを1回押します。(クリック)

e-Taxソフトも更新が必要です

電子申告を行うにあたって、e-Taxソフトは不可欠です。

平成25年1月4日にe-Taxソフトでも更新がありました。バージョンアップ作業をまだ行っていない場合は以下の方法でバージョンアップして下さい。

1. デスクトップ上のe-Taxソフトのアイコンをダブルクリック。
2. インターネット接続をOK→国税庁からのお知らせをOK、にして進んで下さい。

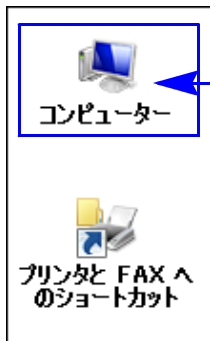


3. 上記の画面が表示されましたら、「バージョンアップ」をクリックし、画面に従ってバージョンアップ作業をお願い致します。

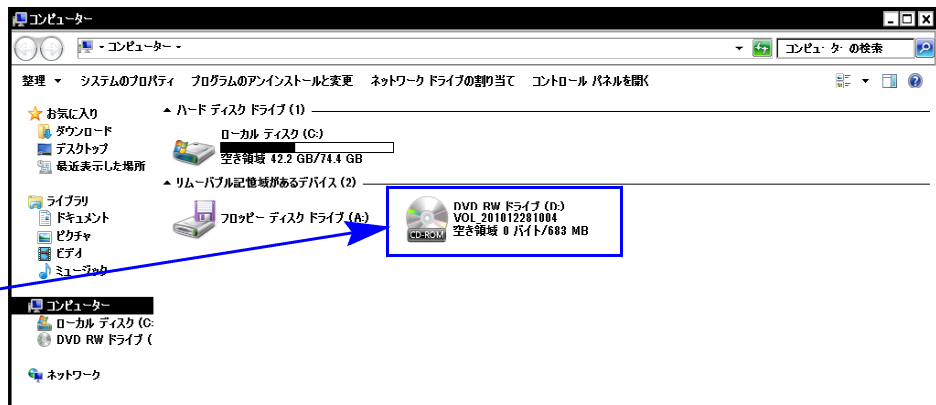
取扱説明書の呼び出し方-PDFの開き方

取扱説明書をPDFとしてCD-Rに入れてお届け致しております。(環境問題へのご理解とご配慮をいただきましてありがとうございます。) PDFの取扱説明書の呼び出し方法は以下の通りです。

各取扱説明書はPDFとして保存してあります。
常に、最新の転送CD-Rに全プログラムの説明書(※年末調整・給与・法定調書は除く)を保存致しております。



1. 転送用のCD-Rをセットします。
2. コンピュータ(XPはマイコンピユータ)をダブルクリックします。



3. CD-Rのドライブをダブルクリックします。(CD-Rドライブの呼出し場所は機種によって違います。)



4. LX_torisetuをダブルクリックします。



5. 左図の本棚のような画像を表示します。

参照したいタイトルをクリックするとPDFの取扱説明書が開きます。

尚、以下の弊社システムサービス課ホームページからも最新の取扱説明書(PDF)を呼び出すことができます(※年末調整・給与・法定調書もあります)。是非ご利用下さい。

http://www.ss.tatemura.com/06_torisetu/LX_torisetu.html

平成24年版の改正内容につきましては前回送付した変更内容をご確認下さい。
 その他の変更点について以下に追記致します。

● 既に23年プログラムで確定データ入力している場合、必ずデータ内容を確認して下さい。

- ・ 生命保険料控除が改組されたことに伴い、新・旧生命保険、介護保険、新・旧個人年金を選択できるよう機能更新しました。
 ※平成23年プログラムで入力した生命保険料(一般)・個人年金保険料データは、旧生命保険料・旧個人年金保険料となります。

行No	保険金受取人	続柄	保険会社名	保険料	保険料合計	控除額合計
1	国税花子	続柄 配偶者	〇〇生命	25,000	新生命保険料 25,000	新生命控除額 22,500
2	国税花子	続柄 配偶者	〇〇生命	35,000	旧生命保険料 35,000	旧生命控除額 30,000
3	国税太郎	続柄 本人	〇〇生命	100,000	介護保険料 90,000	介護控除額 40,000
4	国税太郎	続柄 本人	〇〇生命	90,000	新個人年金	新個人控除額 50,000
5		続柄			旧個人年金 100,000	旧個人控除額 40,000
6		続柄				控除額合計 (上限12万円) 120,000

- ・ A、B様式第1表『住宅借入金等特別控除』区分欄の番号「6～8」が「7～9」に変更となりました。

年度更新した場合は『6～8』が残ります。
 データを確認して下さい。

住宅借入金特別控除	居住開始年月日	番号1～7	年末残高の合計額
	平成 24年 12月 31日	1	70,000,000 円
1	平成24年中		300,000 (円)
2	平成28年中		(円)
3	平成21年 1月 1日～平成22年12月31日		(円)
4	平成20年中		(円)
5	平成18年中		(円)
6	平成18年中		(円)
7	平成17年中		(円)
8	平成15年 1月 1日～平成16年12月31日の間		(円)
9	平成11年 1月 1日～平成16年 6月30日の間		(円)
10	平成20年中		(円)
11	平成19年中		(円)
12	H21.6.4～23.12.31		(円)
13	平成24年中		(円)
14	認定低炭素住宅の特例 H24.12.4～24.12.31		(円)
15	高齢者等居住改修工事等 H20.1.1～24.12.31	特定増改築等費用額	(円)
16	断熱改修工事等 H20.4.1～24.12.31		(円)
17	震災特例法の再取得の特例 H23.1.1～24.12.31		(円)

計算方法が増えたことにより、
 計算欄の実行をラジオボタンから
 番号へ変更しました。
 初期値は『1』となります。

※尚、重複適用がある場合はラジオの金額
 枠に直接控除額を手入力して下さい。
 重複適用の自動計算は対応していません。

● [14]住宅借入金等特別控除額の計算明細書書

重複適用には対応しておりません。－申告書の印刷は可
1面・2面共に手入力して下さい。

※弊社電子申告では重複適用未対応です。

重複適用の場合、住宅借入金等特別控除額の計算明細書は書面にて提出して頂きますようお願い致します。

【1面】

【参考】E欄の①とF欄の②又はF欄の③とH欄の④が異なる場合

(1) $G \text{ の } \textcircled{1} \text{ の金額} \times \frac{A \text{ の } \textcircled{2} \text{ の金額}}{D \text{ の } \textcircled{2} \text{ の金額}} \times \frac{E \text{ の } \textcircled{4} \text{ の割合}}{H \text{ の } \textcircled{4} \text{ の割合}} = \text{円}$

(2) $G \text{ の } \textcircled{1} \text{ の金額} \times \frac{B \text{ の } \textcircled{2} \text{ の金額}}{C \text{ の } \textcircled{2} \text{ の金額}} \times \frac{F \text{ の } \textcircled{4} \text{ の割合}}{H \text{ の } \textcircled{4} \text{ の割合}} = \text{円}$

6. 特定の増改築等に係る事項 ※特定増改築等住宅借入金等特別控除の適用を受ける場合のみ書いてください。

高齢者等居住改修工事等に係る特定増改築等住宅借入金等特別控除の適用を受ける場合に、あなた又は同居親族の方について該当する欄をチェックします。	①高齢者等居住改修工事等の費用の額	②交付等を受ける補助金等の合計額 (30万円を超える場合)	③ - ④
<input type="checkbox"/> 年齢が50歳以上 (同居親族は65歳以上)	⑤新耐震改修工事等の費用の額 (30万円を超える場合)	⑥特定耐震改修工事等の費用の額 (30万円を超える場合)	⑦特定増改築等工事等の費用の合計額 (⑤+⑥)
<input type="checkbox"/> 障害者	⑧ある年の場合に係る特定増改築等住宅借入金等の年末残高 (⑧と⑨のいずれか少ない方の金額)	⑨特定増改築等住宅借入金等の年末残高 (⑧と⑨のいずれか少ない方の金額) (最高200万円)	⑩
<input type="checkbox"/> 要介護・要支援認定者	同居親族の氏名 続柄		
	同居親族の氏名 続柄		

7. (特定増改築等) 住宅借入金等特別控除額

二面の該当する算式のうち、いずれかの算式により計算し、その番号を書きます。番号 1

(特定増改築等) 住宅借入金等特別控除額 (100円未満の端数切捨て) ※二面の[18]の金額を転記します。

⑪	49,000
---	--------

【住宅借入金等特別控除計算書の複数枚作成には対応していません。[18]欄の二面よりの転記はありません。ご注意ください】
※下の適用を受ける場合には、該当する項目を選択してください。重複適用の場合電子申告不可 (書面提出)

適用期間の特例 重複適用 重複適用の特例 ※左の重複適用 (の特例) の適用を受ける場合に二面の[18]の金額を右に転記

⑫	301,000
---	---------

重複適用欄は手入力可能です。(2面よりの転記はありません。)又、電子申告未対応です。書面にて提出して下さい。

【2面】

※[18]の金額を一面の[18]欄に転記します。

【以下一面への転記はしません。又、重複適用の場合電子申告不可 (書面提出して下さい。)]

○重複適用又は震災特別法の重複適用の特例を受ける場合には、次の[19]欄も記載します。
2以上の居住の用に供した日の属する年に係る住宅の取得等に係る住宅借入金等の金額がある場合には、その居住の用に供した日の属する年ごとに (特定増改築等) 住宅借入金等特別控除額の計算明細書を作成します。
その明細書の[18]欄の金額の合計額を最も新しい居住の用に供した日の属する年の明細書の[19]欄に記載します。

重複適用を受ける場合	各明細書の控除額 ([18]の金額) の合計額 (居住の用に供した日の属する年に係る控除限度額のうち最も高い控除限度額が限度となります。) を記載します。	[19]	301,000
震災特別法の重複適用の特例を受ける場合	各明細書の控除額 ([18]の金額) の合計額を記載します。	[19]	

※[19]の金額を一面の[19]欄に転記します。

重複適用欄は手入力可能です。(1面への転記はありません。)又、電子申告未対応です。書面にて提出して下さい。

● 電子申告添付書類: [7] 社会保険料等に係る控除証明書等の記載事項

生命保険料控除が改組されたことに伴い様式が変更になり、新生命保険料・新個人年金保険料・介護医療保険料の入力欄を追加しました。

※平成23年プログラムで入力した一般の生命保険料・個人年金保険料データは旧生命保険料・旧個人年金保険料となります。

● 確定申告書変換について

1. 第4表の1（損失申告用）の短期・長期譲渡の『区分』変換方法が変更になっています。

自動計算（全項目上書にチェックなし）の場合

分離がミット内の収入金額、必要経費いずれかに金額入力があれば、該当区分として変換します。（プレビューでは●が付きます。）

平成24年分の所得税の確定申告書（損失申告用） 第4表(1)

帳票選択
第4表2 プレビュー 印刷

1 損失額又は所得金額 全項目上書

所得の種類		区分等	所得の生ずる場所	[A] 収入金額	[B] 必要経費	[C] 差引金額 (A-B)	[D] 特別控除額	[E] 損失額又は所得金額
A 経常所得（申告書B第一表の[1]から[7]までの合計額）								
譲渡	短期	分離	一般分 東京都新宿区	700,000	1,300,000	シ -800,000	58	0
		総合				ス	59	
	長期	分離	一般分 東京都新宿区	1,500,000	500,000	セ 400,000 1,000,000	60	400,000
		総合	特定損失額（損益通算の特例となる譲渡損失額）			ソ	61	
		一時				62		

★sb411【損失分離譲渡】0144 (dev/pts/10)

拡大表示 縮小表示

譲渡所得の内訳書より転記

分離譲渡所得		
短期	所得の生ずる場所	収入金額 必要経費
短期譲渡	一般分 東京都新宿区	500,000 1,000,000
	軽減分 東京都新宿区	200,000 300,000
長期譲渡		
長期	所得の生ずる場所	収入金額 必要経費
長期譲渡	一般分 東京都新宿区	400,000 100,000
	特定分 東京都新宿区	800,000 300,000
	軽減分 東京都新宿区	200,000 100,000
	総合	

《 電子申告変換後のプレビュー 》

1 損失額又は所得金額

A 経常所得（申告書B第一表の[1]から[7]までの合計額）			
所得の種類	区分等	所得の生ずる場所	収入金額
譲渡	短期	● 一般分 東京都新宿区	700,000
	総合		
長期	● 一般分 東京都新宿区		1,500,000
	● 特定分		
		● 軽減分	
		総合	

この例では短期譲渡、長期譲渡とも全区分に金額があるため、全区分に●が付いています。

上書き（全項目上書にチェックあり）の場合

区分等の入力データが以下に完全一致の時に、該当区分変換します。

短期分離・・・ 一般分、軽減分 長期分離・・・ 一般分、特定分、軽減分

※スペースが入っていると完全一致しないので変換しません。ご注意ください。

1 損失額又は所得金額 全項目上書

A 経常所得（申告書B第一表の[1]から[7]までの合計額）				
所得の種類	区分等	所得の生ずる場所	[A] 収入金額	[B] 必要経費
譲渡	分離	一般分 東京都新宿区	700,000	1,300,000
	軽減分			
	長期	● 一般分 東京都新宿区	1,500,000	500,000
		● 特定分	特定損失額（損益通算の特例となる譲渡損失額）	
		● 軽減分		
		総合		

1 損失額又は所得金額

A 経常所得（申告書B第一表の[1]から[7]までの合計額）			
所得の種類	区分等	所得の生ずる場所	収入金額
譲渡	● 一般分 東京都新宿区		700,000
	□ 軽減分		
長期	□ 一般分 東京都新宿区		1,500,000
	● 特定分		
		● 軽減分	
		総合	

2. 住宅借入金等特別控除について

A・B様式 第1表の区分

『6～8』が『7～9』に変更となりました。『6』が入っている場合、変換時にスキーマエラーします。入力データをご確認下さい。

平成24年分の所得税の確定申告書B 第1表				帳票選択	
※"所得の内訳書より転記"にチェックが付いている場合は各収入金額等のサブミット(緑枠)内は入力できません。入力するにはチェックを外して下さい。				損益通算 フリビタ-	第1表 フリビタ- 第1表印刷
<input type="checkbox"/> 所得の内訳書(確定計算書)より転記				フリビタ-	第2表 フリビタ- 第2表印刷
収入金	事業等 [ア]		課税される所得金額 ([9]-[25])又は第三表	[26]	
	業農 [イ]		上の[26]に対する税額 又は第三表の[84]	[27]	0
	不動産 [ウ]		<input type="checkbox"/> 端数を切り捨てる場合 配当控除	[28]	
	利子 [エ]			[29]	
	配当 [オ]		<input type="checkbox"/> 住宅借入金計明細書から転記 住宅借入金等特別控除	[30]	
	給与 [カ]		政党等寄附金等特別控除	[31]	
		税	政党等寄附金等特別控除	[34]	
			住宅借入金等特別控除	[35]	

[141]住宅借入金等特別控除額の計算明細書

弊社電子申告では重複適用未対応です。

重複適用の場合、住宅借入金等特別控除額の計算明細書は書面にて提出して頂きますようお願い致します。

3. 電子申告添付書類

[1] 給与所得の源泉徴収票の記載事項

源泉徴収票は変更がありました。e-Tax電子申告で入力が必要な箇所は昨年と同じで変更はありません。

平成 年分 給与所得の源泉徴収票の記載事項											
支払金額	円	千	円	円	円	円	円	円	円	円	円
控除対象配偶者の有無等	控除の額	特定者	その他	住宅借入金等特別控除の額	国民年金保険料等の金額	住宅借入金等特別控除可能額	居住開始年月日	平成 年 月 日	借入金等年末残高	円	円
支払者	氏名	住所(居所)又は所在地	氏名又は名称	電話番号	中途退社・退職	受給者生年月日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

電子申告で入力が必要な項目は白枠になった箇所です。

[7] 社会保険料等に係る控除証明書等の記載事項

生命保険料控除が改組されたことに伴い様式が変更になり、新生命保険料・新個人年金保険料・介護医療保険料の入力欄を追加しました。

※平成23年プログラムで入力した一般の生命保険料・個人年金保険料データはも旧生命保険料・旧個人年金保険料となります。

● 新法人税変換について

1. 白色申告の場合、電子申告変換後の別表1-1・別表1-2のプレビューでも白色表示するよう機能更新致しました。

平成 25 年 2 月 20 日		新宿 税務署長殿		白色申告		別表一 (一) 普	
東京都新宿区西新宿〇〇-〇〇-2F西新宿タワーマン		事業種目 卸売業		整理番号			
納税地 ション601号室		使用資産の総額 又は出資金の総額 100,000,000円		事業年度 (年)		年 月 日	
電話 (03) 1234-5555		中小法人等					

2. 【110：新法人税申告書】別表16-2で【170：新減価償却プログラム】より読みみると、耐用年数が2年の場合、保証率(27)の表示が『----』になります。そのまま電子申告変換するとエラーとになっておりましたが、エラーにならないよう改善致しました。

の普通償却率	の場合	12/60	25	0.917	0.917	0.917	0.917	0.917
調整前償却額	(18)×(25)	1,086,168	26	78,360	64,190	56,020	826,800	17,508
保証率	27	率を入力して下さい	27	----	0.1284	----	0.01284	----
償却保証額	28		28					

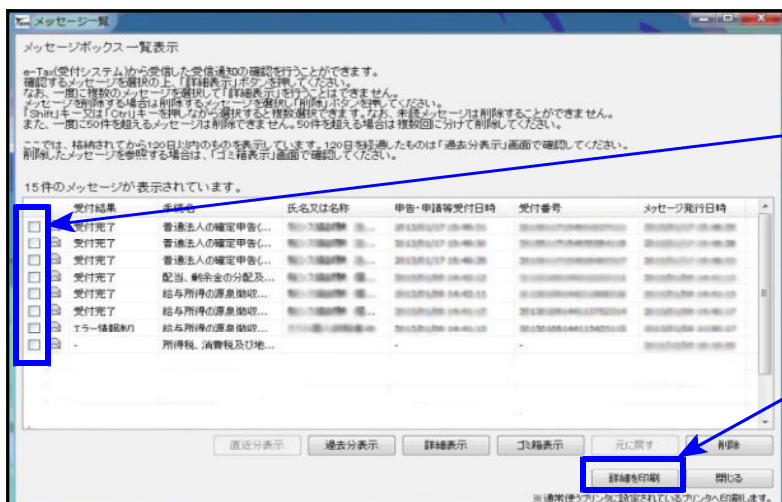
『----』を消さずに変換できるようになりました。

3. 【130：勘定科目内訳書】役員報酬手当の「役職名」・「代表者との関係」欄にスペースが入力してある場合スキマエラーになっておりましたが、空欄を削除して変換するよう機能改善致しました。

役員報酬手当等及び人件費の内訳書											
行 NO.	M	役員報酬手当等の内訳								退職給与 円	
		役職名 担当業務	氏名 住	代表者 との関係 所	常勤 非常勤 勤別	役員 給与計 円	使用人 職務分 務 円	左の内訳 使用人職務分以外 賞与 退職金 退職給与 その他 円			
1						10,000	10,000				
2											

● メッセージボックスからの処理について

一度に複数の詳細を連続印刷できるようになりました。



メッセージ一覧で印刷したいものにチェックを付けて『詳細を印刷』をクリックします。

※チェックが複数ついていると詳細表示は開けません。詳細表示を開く場合は、チェックはひとつだけ付けて下さい。